

途 上

藍染めをした大きな布に(学級の)言葉を副校長先生にかいてもらった瞬間…
「うをおおおお！」



題字:副校長, 文責:教頭

7日の朝、全校音楽が行われました。一昨年の冬(2月)以来、全校が体育館に集まりました。全校で歌えたことの喜びと同時に、全校が“やっと集えた”喜びも、子どもたちは感じていました。

今回全校で歌った歌は♪まるい地球をひとまわり♪でした。「普段の音楽で歌っている歌が、全校で歌うところなんだ」そんなことを感じながら歌っているようでした。もちろん先生たちも歌いますが、全校の前で指揮をした加藤先生は、「先生たちも歌っていたけど、子どもたちの歌声で何も聞こえてきませんでした」と集会後に私に伝えました。それだけ子どもたちの歌声がすばらしかったのです。



途中、加藤先生が、「ほら、(言葉、歌詞、歌声)投げるように」と右手を使って投げる真似をすると、1年1組のAさんは、加藤先生がしているように右手を振り下ろしながら気持ちよさそうに歌っていました。まるで、加藤先生に呼応しているようでした。歌いながら、隣のお友だちと目を合わせ、にこっとする場面もありました。歌うことを通じて、何かお互いを感じ取っているようでした。

来年2月には、音楽会が予定されています。何を発表(歌う、演奏する)するのか各学級決まってきたようです。運動会同様に、音楽会も本当に楽しみです。

今号は、令和3年を締めくくるお便りです。昨年に引き続き、各学級の“これまで”あるいは“今”を、お届けします。

“探究の旅”は、これまでも…これからも…、 子どものくらし、子どもたちとのくらし

【1年】 基地のぼり お月見眺めて 仲良しに

1組は、四季の移ろいを感じ、四季折々の活動を続けています。夏には夏を感じるゼリーをつくり、秋には『お月見ステージ』を設置し、下校後に再度登校して、夜の学校で仲秋の名月を眺めながらの特別授業を行いました。ステージ横になって眺める子、ただただじっと見つめる子など、同じ月を思い思いの感じ方でお月見をしていました。先日は、雪をイメージして白玉団子を作りました。休み明けにはお正月ならではの餅つきを杵と臼を使って行います。今を生きつつ、昔の暮らしを感じて欲しいです。



2組は、『基地づくり』です。くるみの木の近くで、数人で始まった基地作りが、学級としての基地作りへと進化しました。骨組みは有賀先生と保護者の方とで進め、床板に橋に、子どもだけの力で完成させました。2階部分には、教育実習生がレプゼントして下さった看板が飾られています。2組みんなの基地にはハンモックもかけられ、憩いの場となりました。現在は冬となり基地で過ごす機会は減ってきていますが、秋に拾ったどんぐりをコイン代わりに、『ありがとうの会』を企画しました。



【2年】 藍染めて 芋掘り大根 マリオでGO

1組では昨年度出会いつながりのあるおばあちゃんの畑をお借りし（託され）、野菜の栽培をしてきました。この秋はまさしく“収穫の秋”となりました。大根は切り干し大根やたくあん漬けにしたり、サツマイモは干し芋、焼き芋にしたりしました。収穫した野菜をつね子おばあちゃんに届けにも行きました。おばあちゃんは来てくれたことの喜びを子どもたちに伝えて下さいました。

2組では、本格的な『染め物』です。藍を収穫し、生葉で初めて染めて、次には乾燥葉で染めました。2回目の時には、「クラスで一番濃く染めたい」と願ったKさんは、何と染めて洗ってを13回行ったとのこと。とっても濃いインディゴブルーに染めることができました。Tシャツにも染めたので、噂によると、音楽会の発表の時にみんなでこの染めた衣装を身に纏い演奏(合唱)を披露するそうです。

12月には学年合同の会も行い、交流を深めました。それぞれの中核活動に繋がる交流会でした。10月の運動会に登場した「マリオの分身たち」で、美味しい焼き芋をいただきました。



【3年】 毎日の 餌やりお散歩 あと三月（みつき）

1組のヤギ（トカちゃん一家）との暮らし、2組の羊（よつば・ふたば）との暮らし。どちらも区切りとなる1年です。

1組では、去勢をした雄ヤギのトットの行き先について考えあっています。借りている牧場に返すことが約束としてありましたが、去勢した雄はお肉になる（なってしまう）ことを知った子どもたちは、「だったらトットが生き続けられる場所を自分たちで見つける」ことを決意しました。去勢を決断し、生まれた時から飼い続けてきた飼い主として、トットの未来を見つめています。

2組では、夏に刈ったよつばちゃんの毛をきれいに洗っています。担任の座光寺先生は、ある時、「今日が毛を洗うの9回目になります」と伝えてくださった時がありました。同じことを繰り返す活動なのに、様子を見ると、いつも楽しそうに、そして丁寧に中性洗剤を使って洗っています。「よつばちゃんの毛なんだから、大事な毛なんだから丁寧に洗うのが当然でしょ」そんな声が聞こえてきそうです。



【4年】 戸隠と りんごを見つめ “縁” もらう

1組は、学校近くで、りんごを栽培するSさんからりんごの木をお借りし、りんごを育てていく営みを見つめてきました。1つのりんごが出来るまでに行われる多くの細かな作業を知ることができました。特別支援学校との交流で繋がったベジタボーラに育てたりんごを届け、そのりんごをジャムにしてもらい、自分たちで育てたりんごを使ったりんごサンドイッチをいただく機会もありました。また、福祉についての学びも進行し、パリパラリンピック出場を目指すボッチャの選手との交流も実現し、1月には大会に出場します。

2組は、戸隠探究を続けています。戸隠へは2回足を運びました。1回目は化石の発掘体験です。たたき、石が割れるとそこに化石の存在があることに驚き、化石博物館の館長さんの話を聞きさらに驚かされました。2回目は探究したいことを決めだし、グループごとに分かれての活動となりました。忍者の歴史、そば打ち、竹細工、戸隠の歴史自然探訪と、自分が探究したいことに没頭できる、素敵な時間となりました。面白さや楽しさだけでなく、やってみて分かる難しさも感じたと思います。子どもの現在の意識は、“冬の戸隠”にあります。こことは違う冬、あの時感じた戸隠とは違う戸隠を感じられたらと思います。



【5年】 窯で焼き 楮で紙漉き 古(いにしえ)触れる

1組は、紙作りが続いています。7月の志賀高原での自然体験学習の時に、内山和紙の専門家の方に“楮”を使った紙漉き体験をしたことがきっかけとなり、牛乳パックを使った再生紙づくりから、自然のものを利用して作る本格的な紙づくりへと活動が変容しています。多目的室には紙漉きをする大きな桶が置かれ、いつでも何度でもできる状態が保たれています。紙作りを通して、“昔ながら”を味わい、先哲の技を知り、“環境”にも目が向いてきています。

2組は、土器づくりが陶芸的な活動へと変わりつつあります。松代焼きの存在を知り、その松代焼きに使う土も使いながら、庁務の中村先生がドラム缶を改良し作って下さった『ドラム缶窯』での焼き物が実現しました。1000℃を超える熱さによって焼かれる器や茶碗の様子を子どもたちは寒さを忘れ見つめています。23日(昨日)には、松代焼に携わる専門の方と出会いに松代まで出かけました。次につながるヒントを頂くことができました。



【6年】 活動が 広がり深まる 探究の旅

1組は、竹とんぼの探究です。先月には、子どもたちが願い続けていた国際竹とんぼ協会の高橋会長との交流が実現しました。子どもたちは高橋さんからサインを頂くことができました。交流を通して竹とんぼから繋がるご縁も感じることができました。協会発行の通信には1組が考案した『キャッチたけとんぼ』のルールが採用され、掲載されました。善光寺びんずる市への出店も実現しました。

2組は、木、林業の現状とこれからのための探究が続いています。実際の森林に足を運び、森を守る側からの視点で森を見つめました。また、森林組合への見学も行い、木が競り落とされる様子や製材される様子も見つめることができました。現在は自分たちで購入した木材からベンチ製作を行っています。年明けには塗装を終えた完成品を、自分たちで交渉した市内(信大キャンパス他)数カ所に届ける予定です。

卒業学年両学級。探究の旅は、いよいよ佳境を迎えます。



【児童会】 コロナ禍も 全校つながる 想い合い

“想い合い”をキーワードに、児童会は活動を続けています。朝のあいさつについては、全校にアンケートをとり、どんなことを意識して(気をつけて)あいさつするのかを全校に問い、その結果を公表しました。また、堀内児童会長をはじめ児童会のメンバーが昇降口に毎朝立ち、爽やかなあいさつを続けています。「〇〇さん、おはよう」と名前前で呼び合うあいさつも生まれてきました。

各委員会の活動も活発に行われました。下の写真はマラソン大会の様子です。学年の枠を超え、競い合うことができました。運動委員会が作成した『参加賞』を手にした3年生のKさんは、「もう1回走りたい。だって、参加賞もつとほしいんだもん」と走った後に語りました。参加した人のことを思う、江本運動委員長長の“想い”が届いた瞬間でした。



【専科の先生授業】 歌響き 体動かし 観察実験 英語に触れて 食味わう

全学級が専科の先生の授業を楽しむこともできました。ランチルームでは、歌声や楽器の音色が響くときもあれば、団扇であおいでウインドカーを動かす姿が見られた時もありました。教員室から校庭を見ると、走ったり、打ったり、投げたりと、自分の体をめいっぱい使って、運動を楽しむ姿がありました。家庭科室からは、おいしい香りが漂い、楽しそうな声が聞こえてくる時もありました。ALTのナナ先生の母国フィリピンのデザート turon (トゥロン) を作った時には、そのデザートが教員室にも届く時があれば、家庭科で作ったカレーが届いた日もありました。図書館では、本とのふれ合いタイムです。担任の先生も一緒に本とのひとときを味わっています。



担任の授業だけでなく、専科の先生方の授業もあって、長野小の教育課程は成り立っています。そして、専科の先生たちと子どもたちの距離感が、なんともいい距離感です。

【PTA活動】 温かな 保護者皆様に 包まれて

保護者の皆様には、様々な場でお支えいただきました。春と秋、2回の除草作業が行われ、子どもたちと過ごす環境がよりよくなりました。また、プールの始まる前のプール清掃、夏休み期間中の机と椅子の入れ替え作業では、スクールサポート隊の協力の下活動を行うことができました。ありがとうございました。



また、今年度は、新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが低いことから、学級ごとに行う活動も実施することができました。主には『読み聞かせ』が行われ、朝の時間、保護者の方の優しい声が教室に響きました。子どもたちは、保護者の方の優しい言葉に、わくわくする絵本のストーリーに引き込まれていきました。



今年度は授業参観が出来ていません。来年2月には今年度最初で最後の参観日が予定されています。子どもと担任とで織りなす素敵な授業場面を、見ていただければと思います。

<学校からのお知らせ>

(1) 冬休みについて

明日から1月6日(木)まで、冬休みとなります。学校は、12月29日(火)～1月5日(水)まで閉庁日となり、日直もおりません。ご承知おきください。

(2) 健康チェック表について

毎日の健康チェックありがとうございます。冬休み期間中の『健康チェック表』を配布いたしました。これまで同様、冬休み期間中も検温をはじめとした健康チェックを引き続きお願いします。なお、休み中に本人あるいは同居家族でPCR検査を受けることがあった場合には、速やかに担任までご連絡ください。休み明け(7日)、『健康チェック表』を忘れずに持ってくるようにしてください。

=== よいお年をお迎えください ===